

午後 II 試験

全問に共通して、“論述の対象とする構想，計画策定，システム開発などの概要”又は“論述の対象とする製品又はシステムの概要”が適切に記述されていないもの，論述内容と整合性が取れないものが目立った。これらは，評価の対象となるので，矛盾が生じないように適切な記述を心掛けてほしい。

IT ストラテジストの経験と考えに基づいて，設問の趣旨を踏まえて論述することが重要である。問題文及び設問の趣旨から外れた論述や具体性に乏しい論述は，評価が低くなってしまうので，注意してもらいたい。

問 1（IT 導入の企画における投資効果の検討について）では，ビジネスの発展，ビジネスの継続性などに着目して投資効果を検討した経験がある受験者には，論述しやすかったと思われる。一方，コスト削減や効率化に関する投資効果の検討に終始している論述や投資効果の検討内容の論述が不十分で，唐突に KPI を説明する論述も散見された。

問 2（情報システムの目標達成の評価について）では，情報システム化計画の策定に関わり，かつ情報システムの導入後の効果検証を行った経験がある受験者には，論述しやすかったと思われる。一方で，目標値の達成状況をどのように評価したかを具体的に論述せず，評価の結果の論述に終始しているものも散見された。

問 3（組込みシステムにおける事業環境条件の多様性を考慮した製品企画戦略について）では，事業環境条件が多様に変動している状況において製品を企画する際，当該条件を的確に分析し，その分析結果から対策又は方策を検討して，製品企画戦略を策定することについて論述を求めた。内部環境及び外部環境の分析は，理解された論述が多かった。一方で，事業環境条件の多様性については，分析結果だけの論述，どのような観点で製品企画戦略を策定したかが読み取れない論述が散見された。